

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：環境生活部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえ県民交流センター（津市羽所町700番地 アスト津3階）
指定管理者の名称等	特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター 代表理事 松井 真理子 （四日市市萱生町1200 四日市大学 特定非営利活動法人市民社会研究所内）
指定の期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設等の利用に関する業務 2 市民活動促進及び国際化の推進のための業務 3 市民活動に関する情報の受発信に関する業務 4 中間支援団体等の機能向上・連携交流に関する業務 5 利用料金の収受に関する業務 6 施設の維持管理に関する業務 7 その他施設の管理運営上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H29	B		<ul style="list-style-type: none"> ・施設、備品については、良好に管理するとともに、積極的に節電に取り組むなど、安全や環境に配慮した施設運営を行うことができた。 ・令和2年度以降は、上記に併せて、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、感染防止対策を実施し、安心して利用できるよう努めた。 ・市民活動の活性化や国際推進に関する、多様な主体とのネットワークを活かした各種セミナーやイベントを開催し、地域の拠点としての役割を果たした。 ・ホームページ、SNS等の積極的な活用や、定期発行の情報誌により助成金や市民活動等に関する情報をわかりやすく発信し、利用者サービスの向上に努めた。
H30	B		
R元	B		
R2	B		
R3	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H29	B		<ul style="list-style-type: none"> ・外部委員会や利用者アンケートによりニーズを把握し、効果的なサービスや情報発信を行い、平成29年度から令和元年度は来館者数が成果目標を上回っていた。しかし、令和2年度以降はコロナ禍により、事業の中止や施設の利用制限を行ったことから来館者数が大幅に減少し、成果目標を達成できなかった。 ・毎年度平均40冊の書籍を新たに配架することで図書コーナーの充実を図り、貸出数は全期間成果目標を上回った。
H30	B		
R元	B		
R2	B		
R3	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況（全期間）

（単位：円）

収入の部		支出の部	
指定管理料	151,521,250	事業費	139,784,255
利用料金収入	5,498,150	管理費	8,119,870
その他の収入	4,815,062	その他の支出	8,572,476
合計 (a)	161,834,462	合計 (b)	156,476,601
収支差額 (a)-(b)	5,357,861		

※参考

利用料金減免額	374,970
---------	---------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H29実績値	H30実績値	R元実績値	R2実績値	R3実績値
H29	A		センター来館者数	63,000人	67,064人	66,855人	63,192人	28,059人	30,499人
H30	A		事業参加者の満足度	85%以上 ／年	87%	89%	92%	88.10%	94.46%
R元	A		図書コーナーの利用の増加。NPO／NGO、国際関連の図書の貸出	120冊 ／年	132冊	180冊	258冊	157冊	148冊
R2	B		市民活動・NPO月間に関わる連携協力団体の数	15団体 ／年	40団体	36団体	26団体	38団体	33団体
R3	B								
全期間におけるコメント									
<ul style="list-style-type: none"> ・「センター来館者数」については、令和元年度までは、適切な施設管理や多様な事業展開が利用者ニーズをとらえており、成果目標を達成することができた。しかし、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大により、センターの閉館や利用数制限を行ったため、成果目標を達成することができなかった。対面での事業実施が難しく、多くをの事業をオンラインに切り替えるなど、工夫をして事業を実施した。 ・「事業参加者の満足度」については、利用者アンケートや外部委員会において得た意見を参考にし、利用者ニーズを把握し、事業を実施してきたことが全期間の成果目標達成につながっている。 ・指定管理者が独自に設定している成果目標「図書コーナーの利用増加。NPO／NGO、国際関連の図書の貸出」については、社会課題や地域課題に関する書籍や市民活動、国際問題等の関係書籍を年々増加させて充実しており、すべての期間で目標を達成している。また、「市民活動・NPO月間」には、全期間、成果目標に掲げる数を超える団体との連携、協力によりイベントを開催することができた。 									

6 総括評価

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、令和元年度までは、目標を上回る数字が続いていたが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、大幅に減少した。しかし、実施事業については、市民活動団体等のニーズに応じたタイムリーなテーマで実施し、また、コロナ禍の状況をふまえて対面、オンライン、ハイブリッドといった事業運営方法を検討し実施した結果、利用者満足度は、全期間を通じて目標を上回った。 ・施設、備品について適切に維持管理を行うとともに、外部委員会からの意見聴取や利用者アンケートを実施することで、安全で快適な施設環境の整備に努めた。 ・施設利用者に対して「検温」「消毒」「黙食」「三密回避」等への協力を促し、安心・安全で、気持ちよく利用できる環境づくりに取り組んだ。 ・県内の市民活動センター等と連携し「市民活動・NPO月間」を毎年12月に実施し、市民活動やボランティアに関する啓発につなげている。ホームページ、SNS、情報誌といった多様な媒体を利用し、市民活動に関する情報発信を積極的に行った。 ・全般的には、みえ県民交流センターの指定管理者として、センターの地域の拠点としての役割を十分に理解した管理運営が行われてきたと評価できる。次期も同指定管理者が一員となって管理運営を行うが、この5年間の実績をふまえて、県内の中間支援団体のネットワーク組織である強みを生かし、NPO等の基盤強化し、存在感を高めていく取組を期待する。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
 - 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
 - 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

- ※ 県の評価 :
 - 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。